

ICT高度利用支援

中小企業に専門家指南

県が推進策

佐賀県は中小企業のICT活用方法を伝授する「改善に向けたアドバイザー」ICT高度利用に向けた「コーディネーター」を選任し、各企業の課題分析や「アドバイザー」の育成にも取り組む。

「企業のICT活用力の向上と人材育成を目指す。事業は県出稼産業支援

センターが主体となり、中心的役割を担うICTコーディネーターを数人選任。企業の経営課題を分析した上で、ICTの高度利用に向けた課題解決策を提案する。ケースによっては各分野の専門家を企業に派遣し、解決にあたる。

また、経営者らを対象にした業種別の研究会開催や、企業内でリーダーとなる人材の育成講座も計画している。

県が昨年九月に行ったアンケート調査（約九十社回答）では、販売や生

産管理など部門別にソフトを導入しても、個々のソフトを連携させて会社全体で活用できていないケースも多かった。専門知識を持つコーディネーターが活用方法を検証するなどで、企業の業務効率化やICT活用意識を育てることを目指す。

本年度事業費は約千二百八十万円。県は政府系金融機関の融資促進措置などが受けられる経営革新計画の承認企業を、今後五年間で三十社達成したいとしている。

（大橋）